

# 第 54 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(平成 30 年 2 月調査)

## ～業況は引き続き停滞～

### 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が 2.5 (前回調査比 0.8 ポイント下落) と **小幅ながら 3 期連続で悪化**した。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「資金繰り」が改善、「営業利益」が悪化、「売上高」「人員・人手」がほぼ横ばいとなっており、業況は停滞傾向にあるものと考えられる。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、建設業が 9.2 (前回調査比 1.2 ポイント下落)、製造業が 12.2 (前回調査比 7.8 ポイント下落)、卸・小売業が▲18.7 (前回調査比 3.7 ポイント下落)、サービス業が 4.1 (前回調査比 10.3 ポイント上昇) と、**サービス業で D I 値がプラスに転じて改善**したものの、**建設業、製造業、卸・小売業で悪化**した。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲7.4 (前回調査比 6.5 ポイント下落)、村山北部が▲1.9 (前回調査比 11.1 ポイント下落)、最上が 2.6 (前回調査比 7.5 ポイント上昇)、置賜が 5.7 (前回調査比 1.9 ポイント下落)、庄内田川が 14.4 (前回調査比 9.4 ポイント上昇)、庄内飽海が 3.8 (前回調査比 1.3 ポイント下落) となっている。**最上、庄内田川で改善**した一方で、**村山南部、村山北部、置賜、庄内飽海で悪化**となった。最上で 14 期ぶりに D I 値がプラスとなる一方で、村山北部では 4 期ぶりにマイナスに転じるなど、地域別にまだら模様となっている。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値」が▲12.5 (今回調査比 15.0 ポイント下落) と大幅に悪化し、マイナスに転じる見込みで、あわせて 4 業種すべてでマイナスの D I 値となる見込みになっている。

### 【特別調査】

- **雇用調整**について尋ねたところ、「残業規制」が 32.1% (昨年比▲0.4%)、「ワークシェアリング」が 13.8% (昨年比+4.1%)、「従業員の削減」が 4.6% (昨年比▲0.1%) と、昨年に比べ、「ワークシェアリング」の割合が上昇した一方で、「残業規制」「従業員の削減」は若干低下した。
- **新卒者の採用状況** (平成 30 年度) について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 44.2% (昨年調査比+3.3%) と上昇となった。

平成 30 年 2 月

株式会社 フィデア総合研究所

# 目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気のお天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	雇用調整について	15
2.	新卒者の採用状況について	16
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		17
<参考資料 II : 調査の概要>		17

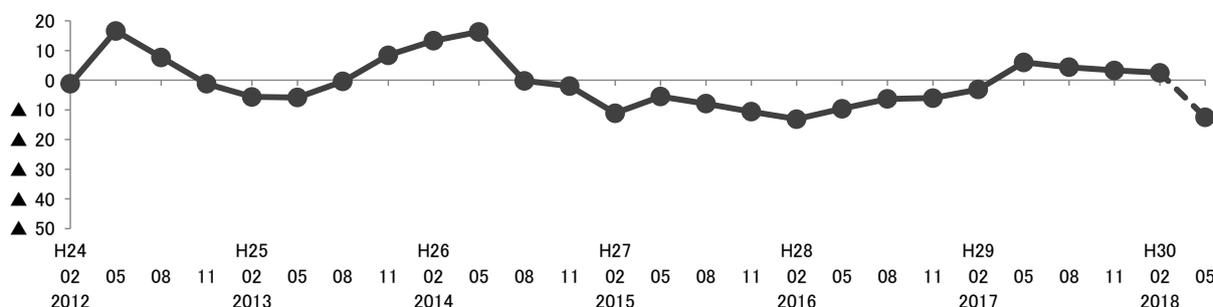
## I. 県内企業の業況

### 1. 概況

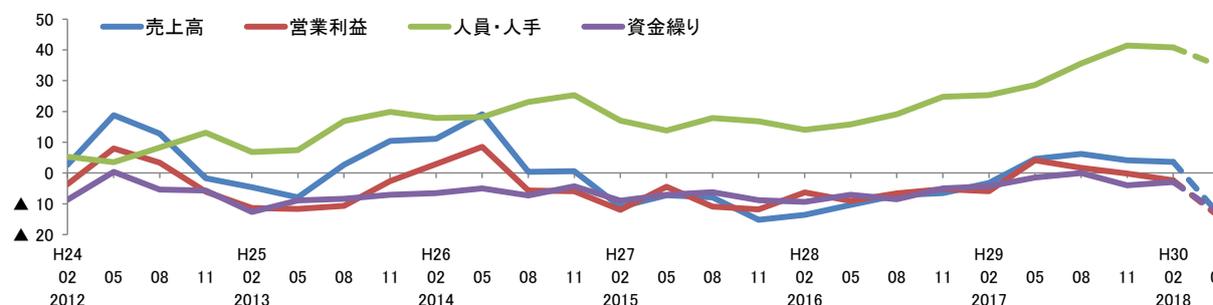
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 2.5（前回調査比 0.8 ポイント下落）と小幅ながら 3 期連続で悪化した。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」が改善、「営業利益」が悪化、「売上高」「人員・人手」がほぼ横ばいとなっており、業況は停滞傾向にあるものと考えられる。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲12.5（今回調査比 15.0 ポイント下落）と大幅に悪化し、マイナスに転じる見込みで、あわせて 4 業種すべてでマイナスの D I 値となる見込みになっている。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 29.02 (n=443)	▲ 3.1	(2.9)	▲ 10.1	▲ 3.2	▲ 5.9	25.3	▲ 4.3
H 29.05 (n=419)	6.0	(9.1)	▲ 10.6	4.6	4.1	28.6	▲ 1.5
H 29.08 (n=435)	4.4	(▲ 1.6)	▲ 9.0	6.2	1.7	35.6	0.0
H 29.11 (n=418)	3.3	(▲ 1.1)	▲ 6.7	4.1	▲ 0.2	41.4	▲ 4.0
<b>H 30.02 (n=414)</b>	<b>2.5</b>	<b>(▲ 0.8)</b>	<b>▲ 8.1</b>	<b>3.6</b>	<b>▲ 2.4</b>	<b>40.8</b>	<b>▲ 2.9</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 0.5)	(▲ 2.2)	(▲ 0.6)	(1.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 12.5</b>	-	-	<b>▲ 13.5</b>	<b>▲ 14.2</b>	<b>34.8</b>	<b>▲ 13.1</b>
今回調査比	(▲ 15.0)	-	-	(▲ 17.1)	(▲ 11.8)	(▲ 6.0)	(▲ 10.2)

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

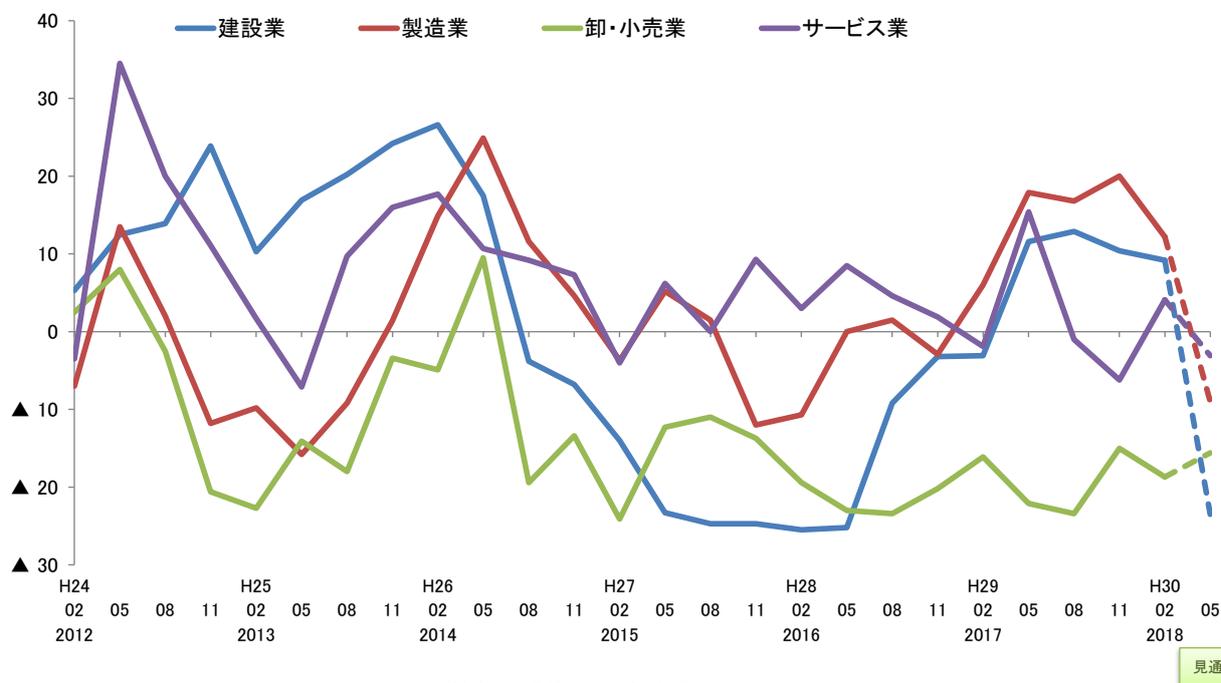
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が 9.2（前回調査比 1.2 ポイント下落）、製造業が 12.2（前回調査比 7.8 ポイント下落）、卸・小売業が▲18.7（前回調査比 3.7 ポイント下落）、サービス業が 4.1（前回調査比 10.3 ポイント上昇）と、サービス業で D I 値がプラスに転じて改善したものの、建設業、製造業、卸・小売業で悪化した。

業況の先行き見通しは、卸・小売業で改善、その他の 3 業種で悪化の見込みとなっており、卸・小売業を含めすべての業種でマイナスの D I 値となる見込みである。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.02 (n=443)	▲ 3.1	▲ 3.1	6.0	▲ 16.1	▲ 1.9
H 29.05 (n=419)	6.0	11.6	17.9	▲ 22.1	15.4
H 29.08 (n=435)	4.4	12.9	16.8	▲ 23.4	▲ 1.0
H 29.11 (n=418)	3.3	10.4	20.0	▲ 15.0	▲ 6.2
<b>H 30.02 (n=414)</b>	<b>2.5</b>	<b>9.2</b>	<b>12.2</b>	<b>▲ 18.7</b>	<b>4.1</b>
前回調査比	(▲ 0.8)	(▲ 1.2)	(▲ 7.8)	(▲ 3.7)	(10.3)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 12.5</b>	<b>▲ 23.5</b>	<b>▲ 9.0</b>	<b>▲ 15.6</b>	<b>▲ 3.1</b>
今回調査比	(▲ 15.0)	(▲ 32.7)	(▲ 21.2)	(3.1)	(▲ 7.2)

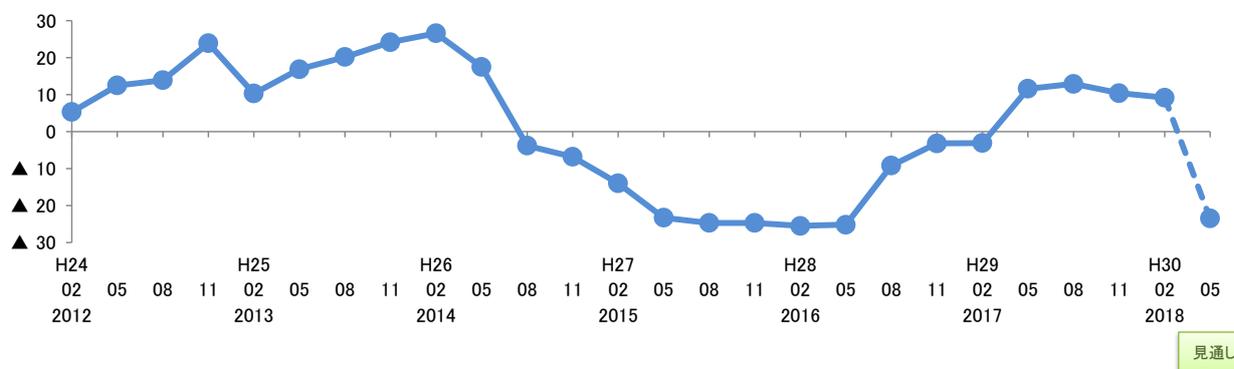
## (2) 業種別 D I 値の動向

### ① 建設業

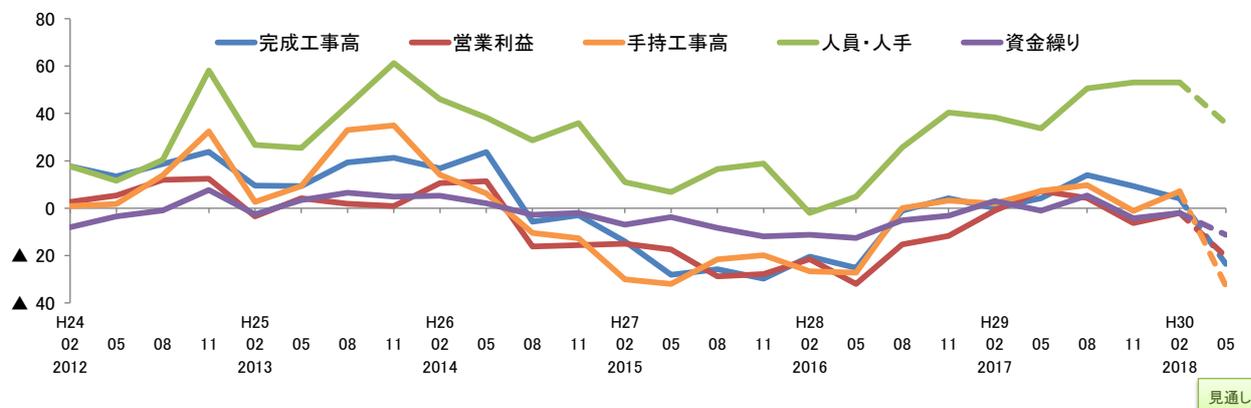
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 9.2（前回調査比 1.2 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「完成工事高」で悪化し、「営業利益」「手持工事高」「資金繰り」が改善、「人員・人手」は横ばいとなった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲23.5（今回調査比 32.7 ポイント下落）と大幅に悪化が見込まれている。公共工事や新設住宅着工戸数が前年に比べて減少傾向にあることなどから、先行きを懸念する状況になっていると考えられる。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

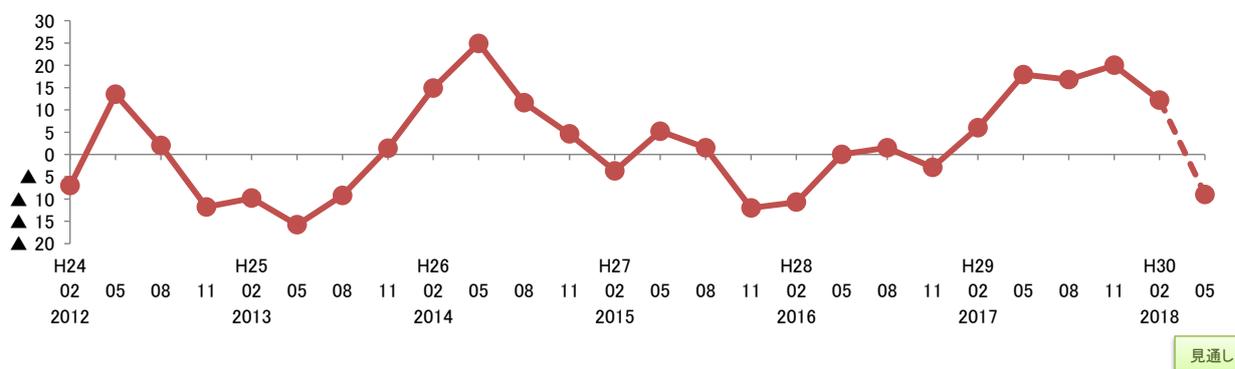
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測	今回調査比					
H 29.02 (n=99)	▲ 3.1	(0.1)	▲ 17.0	0.0	▲ 1.0	2.0	38.3	3.0
H 29.05 (n=95)	11.6	(14.7)	▲ 13.2	4.2	7.3	7.3	33.7	▲ 1.0
H 29.08 (n=93)	12.9	(1.3)	▲ 20.0	14.0	4.3	9.7	50.5	5.4
H 29.11 (n=97)	10.4	(▲ 2.5)	▲ 10.8	9.3	▲ 6.3	▲ 1.1	53.1	▲ 4.2
<b>H 30.02 (n=98)</b>	<b>9.2</b>	<b>(▲ 1.2)</b>	<b>▲ 17.7</b>	<b>4.1</b>	<b>▲ 2.0</b>	<b>7.1</b>	<b>53.1</b>	<b>▲ 2.0</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.2)	(4.3)	(8.2)	(0.0)	(2.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 23.5</b>	-	-	<b>▲ 23.5</b>	<b>▲ 20.4</b>	<b>▲ 32.7</b>	<b>35.8</b>	<b>▲ 11.2</b>
今回調査比	(▲ 32.7)	-	-	(▲ 27.6)	(▲ 18.4)	(▲ 39.8)	(▲ 17.3)	(▲ 9.2)

## ② 製造業

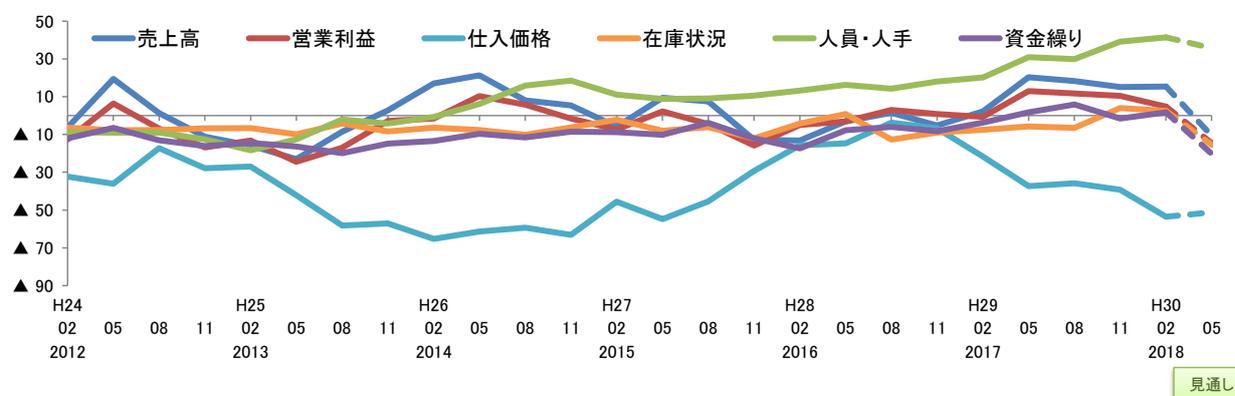
「自社の業況DI値（前年同期比）」は12.2（前回調査比7.8ポイント下落）と再び下落し、一進一退の状況となっている。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「営業利益」「仕入価格」「在庫状況」で悪化し、「人員・人手」「資金繰り」が改善、「売上高」はほぼ横ばいとなった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲9.0（今回調査比21.2ポイント下落）と大幅に悪化し、DI値がマイナスに転じる見込みとなっている。原材料費の高騰などから先行きに対して慎重な姿勢がみられる。

図表 6 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

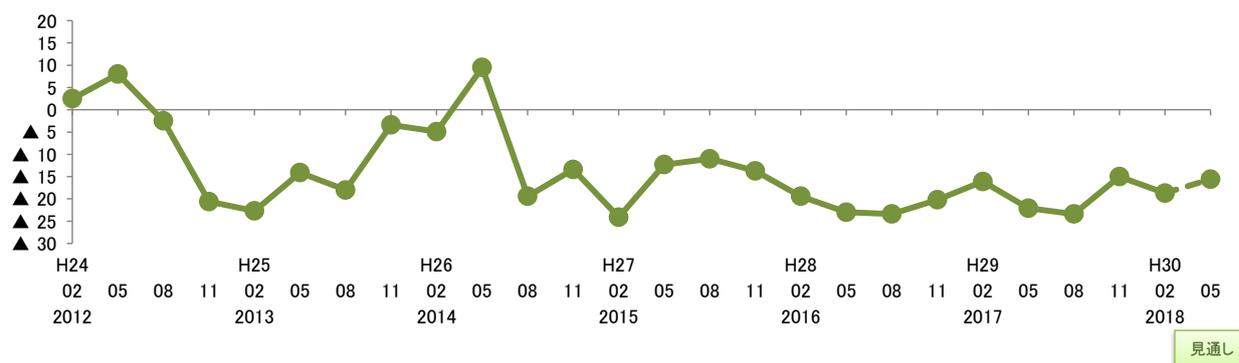
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 29.02 (n=134)	6.0	(8.9)	4.5	2.2	▲ 0.7	▲ 21.7	▲ 7.5	20.2	▲ 3.7
H 29.05 (n=123)	17.9	(11.9)	▲ 9.0	20.3	13.0	▲ 37.4	▲ 5.7	30.9	1.7
H 29.08 (n=137)	16.8	(▲ 1.1)	8.2	18.3	11.7	▲ 35.8	▲ 6.5	29.9	5.9
H 29.11 (n=125)	20.0	(3.2)	2.9	15.2	10.4	▲ 39.2	4.0	39.2	▲ 1.6
<b>H 30.02 (n=123)</b>	<b>12.2</b>	<b>(▲ 7.8)</b>	<b>2.4</b>	<b>15.4</b>	<b>4.8</b>	<b>▲ 53.6</b>	<b>2.5</b>	<b>41.4</b>	<b>1.7</b>
前回調査比	-	-	-	(0.2)	(▲ 5.6)	(▲ 14.4)	(▲ 1.5)	(2.2)	(3.3)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 9.0</b>	-	-	<b>▲ 10.6</b>	<b>▲ 14.6</b>	<b>▲ 51.2</b>	<b>▲ 15.5</b>	<b>35.7</b>	<b>▲ 20.3</b>
今回調査比	(▲ 21.2)	-	-	(▲ 26.0)	(▲ 19.4)	(2.4)	(▲ 18.0)	(▲ 5.7)	(▲ 22.0)

### ③ 卸・小売業

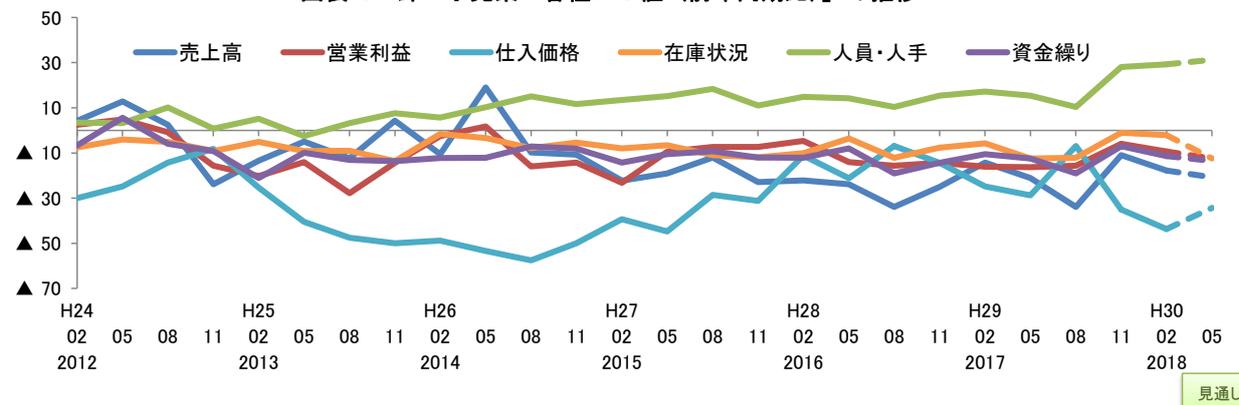
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲18.7（前回調査比 3.7 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「人員・人手」の値が上昇し、その他 5 項目で悪化した。また、各社のコメントから、更なるネット販売の拡大に伴い一層の競争激化を懸念している状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、▲15.6（今回調査比 3.1 ポイント上昇）と若干の改善の見込みとなっているものの、平成 26 年 8 月調査以降の水面下（DI 値マイナス）での推移に変わりはない。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

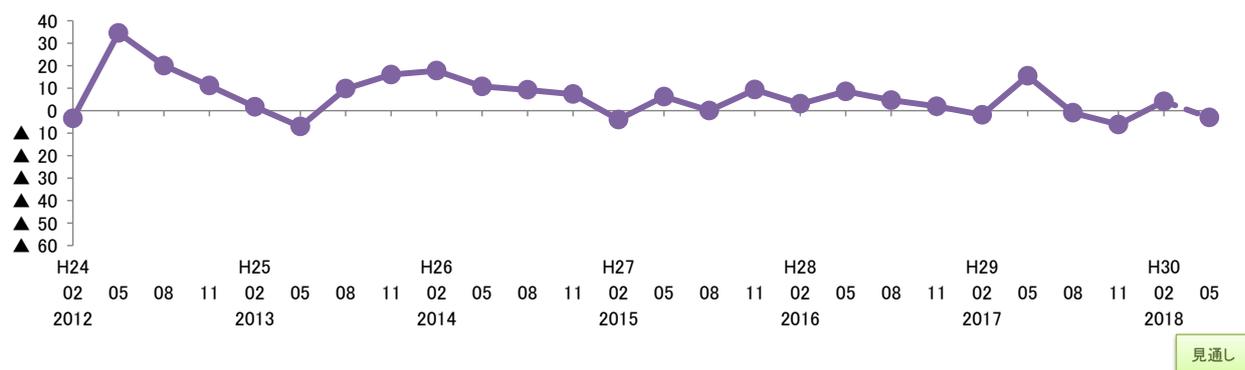
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 29.02 (n=105)	▲ 16.1	(4.1)	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 16.1	▲ 24.8	▲ 5.7	17.2	▲ 10.5
H 29.05 (n=104)	▲ 22.1	(▲ 6.0)	▲ 18.1	▲ 21.1	▲ 16.3	▲ 28.8	▲ 12.5	15.4	▲ 12.5
H 29.08 (n=105)	▲ 23.4	(▲ 1.3)	▲ 13.4	▲ 33.9	▲ 15.6	▲ 6.9	▲ 12.1	10.4	▲ 19.1
H 29.11 (n=100)	▲ 15.0	(8.4)	▲ 12.2	▲ 11.0	▲ 6.0	▲ 35.0	▲ 1.0	28.0	▲ 7.0
<b>H 30.02 (n=96)</b>	<b>▲ 18.7</b>	<b>(▲ 3.7)</b>	<b>▲ 13.0</b>	<b>▲ 17.8</b>	<b>▲ 9.4</b>	<b>▲ 43.7</b>	<b>▲ 2.1</b>	<b>29.2</b>	<b>▲ 11.4</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 6.8)	(▲ 3.4)	(▲ 8.7)	(▲ 1.1)	(1.2)	(▲ 4.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 15.6</b>	-	-	<b>▲ 20.8</b>	<b>▲ 12.5</b>	<b>▲ 34.3</b>	<b>▲ 12.5</b>	<b>31.3</b>	<b>▲ 13.5</b>
今回調査比	(3.1)	-	-	(▲ 3.0)	(▲ 3.1)	(9.4)	(▲ 10.4)	(2.1)	(▲ 2.1)

### ④ サービス業

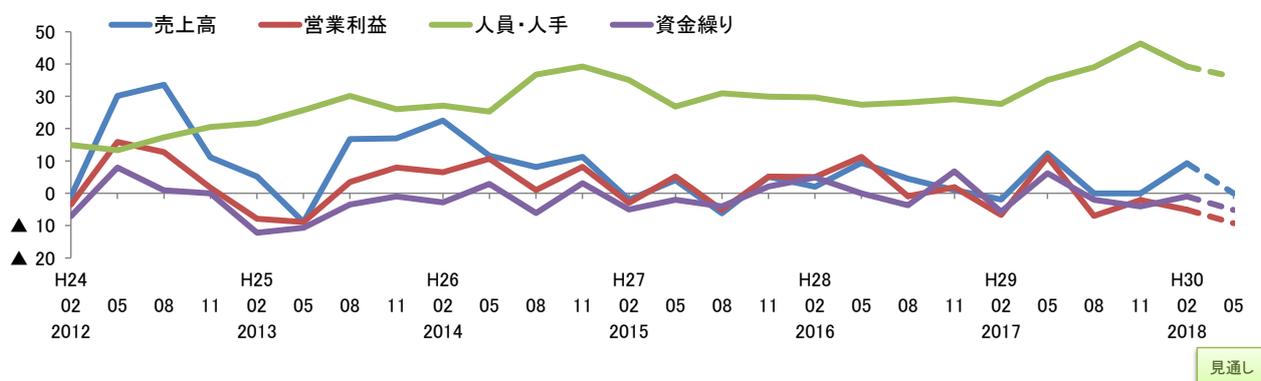
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は4.1（前回調査比10.3ポイント上昇）と3期ぶりに改善してD I 値がプラスに転じた。「各種D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」「人員・人手」が悪化となったものの、「売上高」「資金繰り」で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値」が▲3.1（今回調査比7.2ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 29.02 (n=105)	▲ 1.9	(▲ 3.8)	▲ 17.5	▲ 1.9	▲ 6.7	27.6	▲ 5.7
H 29.05 (n=97)	15.4	(17.3)	▲ 2.9	12.4	11.3	35.0	6.2
H 29.08 (n=100)	▲ 1.0	(▲ 16.4)	▲ 15.5	0.0	▲ 7.0	39.0	▲ 2.0
H 29.11 (n=97)	▲ 6.2	(▲ 5.2)	▲ 5.0	0.0	▲ 2.1	46.3	▲ 4.1
<b>H 30.02 (n=97)</b>	<b>4.1</b>	<b>(10.3)</b>	<b>▲ 7.2</b>	<b>9.3</b>	<b>▲ 5.1</b>	<b>39.2</b>	<b>▲ 1.0</b>
前回調査比	-	-	-	(9.3)	(▲ 3.0)	(▲ 7.1)	(3.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 3.1</b>	-	-	<b>0.0</b>	<b>▲ 9.3</b>	<b>36.0</b>	<b>▲ 5.2</b>
今回調査比	(▲ 7.2)	-	-	(▲ 9.3)	(▲ 4.2)	(▲ 3.2)	(▲ 4.2)

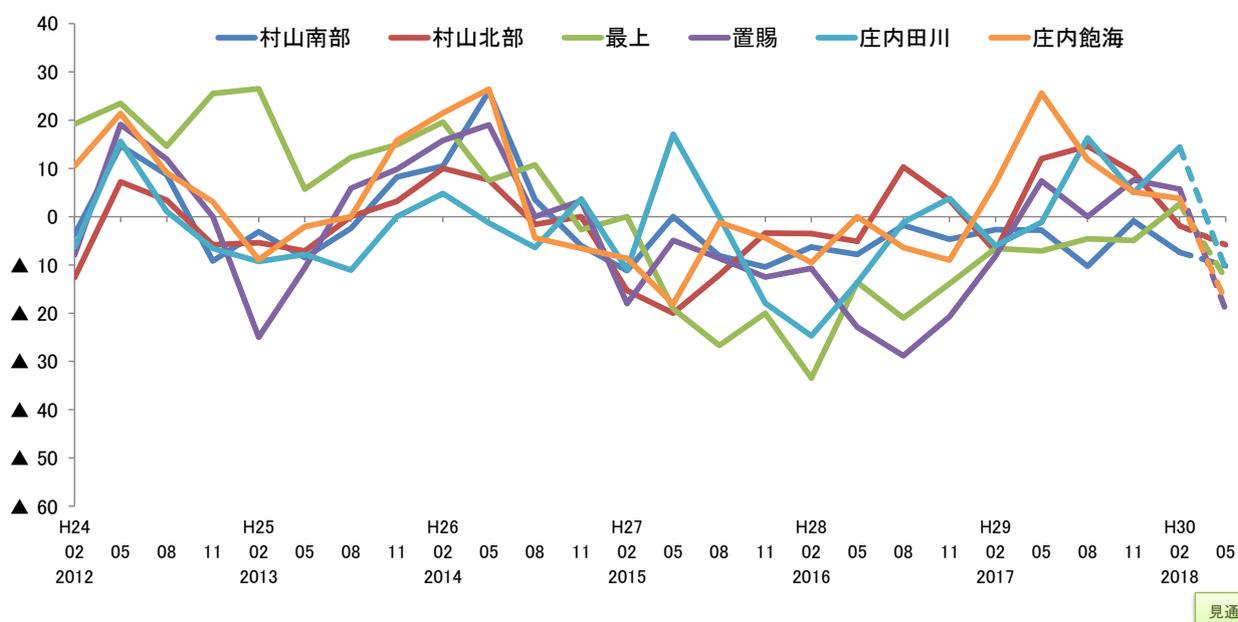
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲7.4（前回調査比 6.5 ポイント下落）、村山北部が▲1.9（前回調査比 11.1 ポイント下落）、最上が 2.6（前回調査比 7.5 ポイント上昇）、置賜が 5.7（前回調査比 1.9 ポイント下落）、庄内田川が 14.4（前回調査比 9.4 ポイント上昇）、庄内飽海が 3.8（前回調査比 1.3 ポイント下落）となっている。最上、庄内田川で改善した一方で、村山南部、村山北部、置賜、庄内飽海で悪化となった。最上で 14 期ぶりに D I 値がプラスとなる一方で、村山北部では 4 期ぶりにマイナスに転じるなど、地域別にまだら模様となっている。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれ、その結果、すべての地域で D I 値がマイナスとなる見込みとなっている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 29.02 (n=443)	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 7.2	▲ 6.6	▲ 8.2	▲ 6.0	6.9
H 29.05 (n=419)	6.0	▲ 2.8	12.0	▲ 7.1	7.4	▲ 1.2	25.6
H 29.08 (n=435)	4.4	▲ 10.3	14.6	▲ 4.6	0.0	16.3	11.8
H 29.11 (n=418)	3.3	▲ 0.9	9.2	▲ 4.9	7.6	5.0	5.1
<b>H 30.02 (n=414)</b>	<b>2.5</b>	<b>▲ 7.4</b>	<b>▲ 1.9</b>	<b>2.6</b>	<b>5.7</b>	<b>14.4</b>	<b>3.8</b>
前回調査比	(▲ 0.8)	(▲ 6.5)	(▲ 11.1)	(7.5)	(▲ 1.9)	(9.4)	(▲ 1.3)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 12.5</b>	<b>▲ 10.2</b>	<b>▲ 5.8</b>	<b>▲ 12.8</b>	<b>▲ 19.3</b>	<b>▲ 10.8</b>	<b>▲ 17.5</b>
今回調査比	(▲ 15.0)	(▲ 2.8)	(▲ 3.9)	(▲ 15.4)	(▲ 25.0)	(▲ 25.2)	(▲ 21.3)

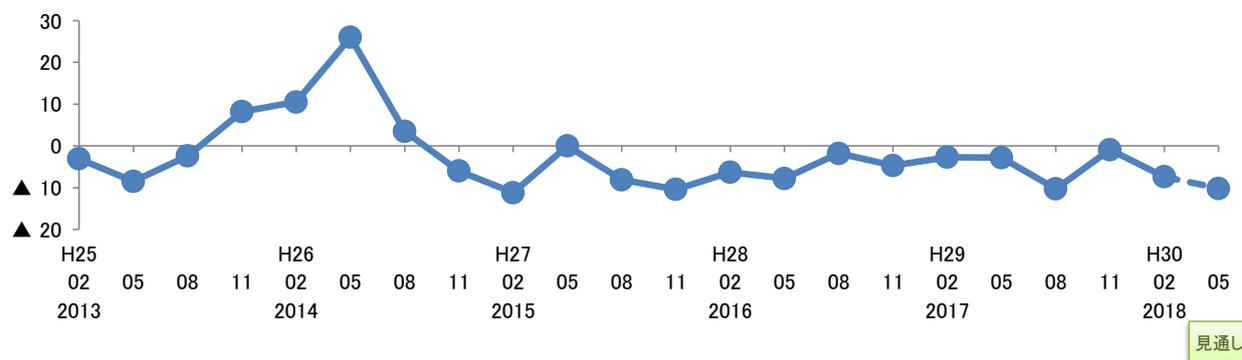
## (2) 地域別 D I 値の動向

### ① 村山南部

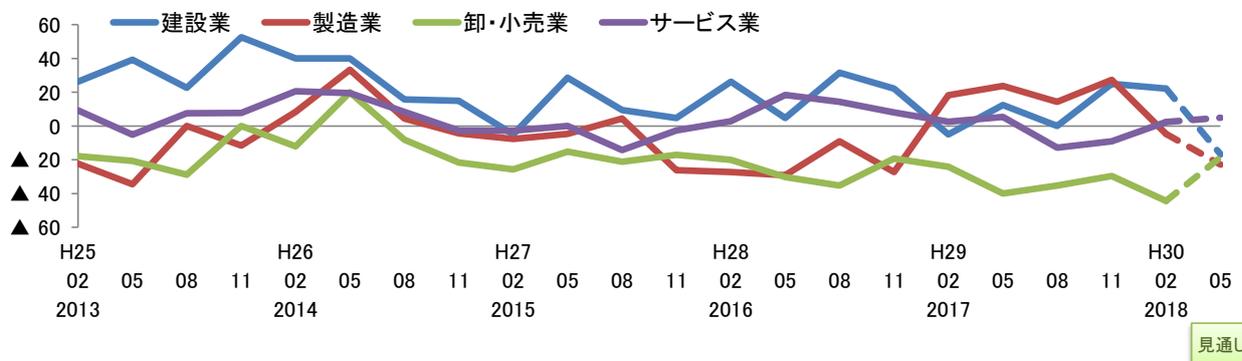
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲7.4（前回調査比 6.5 ポイント下落）と、一進一退の状況となっている。業種別にみると、サービス業で改善となっているものの、その他の 3 業種は悪化している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲10.2（今回調査比 2.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

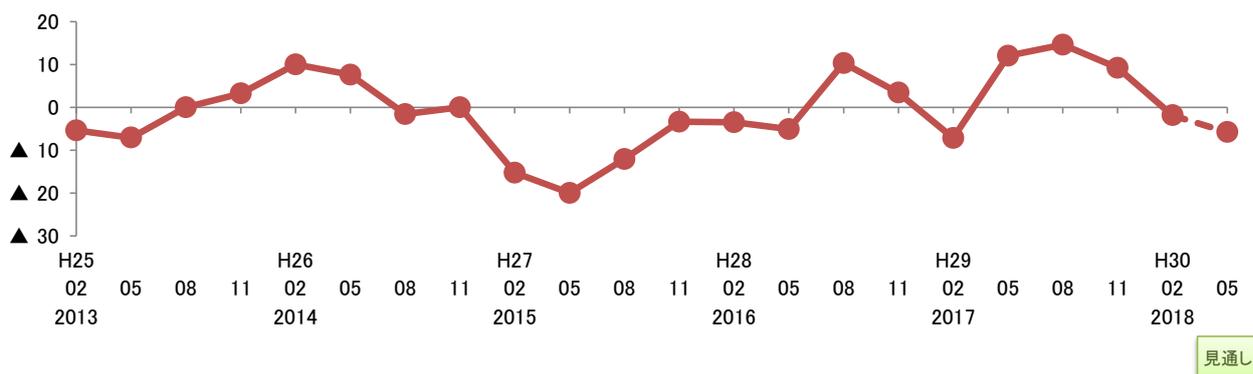
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.02 (n=111)	▲ 2.7	(2.0)	▲ 11.1	▲ 5.0	18.2	▲ 24.1	2.5
H 29.05 (n=104)	▲ 2.8	(▲ 0.1)	▲ 7.2	12.5	23.8	▲ 40.0	5.4
H 29.08 (n=107)	▲ 10.3	(▲ 7.6)	▲ 11.6	0.0	14.3	▲ 35.3	▲ 12.9
H 29.11 (n=113)	▲ 0.9	(9.4)	▲ 8.4	25.0	27.3	▲ 29.6	▲ 9.1
<b>H 30.02 (n=108)</b>	<b>▲ 7.4</b>	<b>(▲ 6.5)</b>	<b>▲ 4.4</b>	<b>22.2</b>	<b>▲ 4.6</b>	<b>▲ 44.4</b>	<b>2.4</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 2.8)	(▲ 31.9)	(▲ 14.8)	(11.5)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 10.2</b>	-	-	<b>▲ 16.7</b>	<b>▲ 22.8</b>	<b>▲ 18.5</b>	<b>4.9</b>
今回調査比	(▲ 2.8)	-	-	(▲ 38.9)	(▲ 18.2)	(25.9)	(2.5)

## ② 村山北部

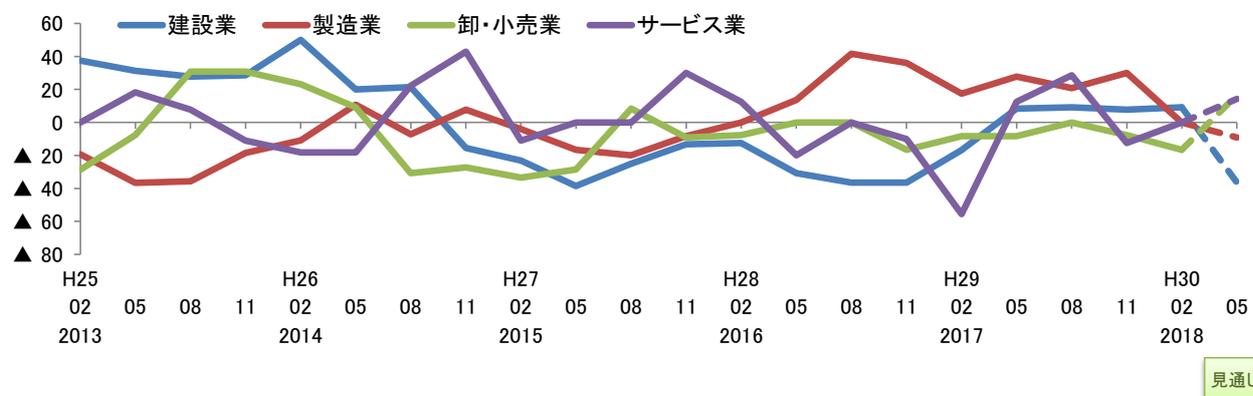
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲1.9（前回調査比 11.1 ポイント下落）と悪化し、4 期ぶりに D I 値がマイナスに転じた。業種別にみると、建設業とサービス業で改善したものの、製造業と卸・小売業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲5.8（今回調査比 3.9 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

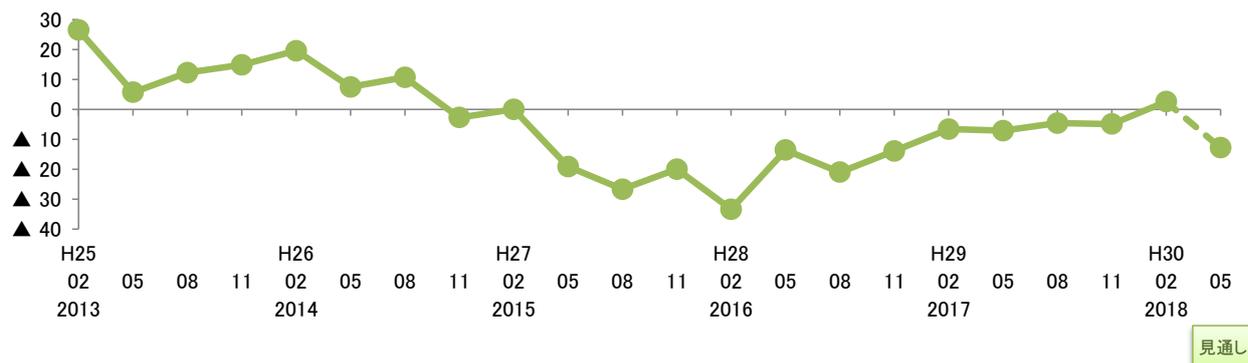
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.02 (n=56)	▲ 7.2	(▲ 10.6)	1.8	▲ 16.7	17.4	▲ 8.3	▲ 55.6
H 29.05 (n=50)	12.0	(19.2)	▲ 16.1	8.3	27.7	▲ 8.3	12.5
H 29.08 (n=55)	14.6	(2.6)	▲ 6.0	9.1	20.8	0.0	28.6
H 29.11 (n=54)	9.2	(▲ 5.4)	▲ 5.4	7.7	30.0	▲ 7.7	▲ 12.5
H 30.02 (n=52)	▲ 1.9	(▲ 11.1)	1.8	9.1	0.0	▲ 16.6	0.0
前回調査比	-	-	-	(1.4)	(▲ 30.0)	(▲ 8.9)	(12.5)
先行き見通し	▲ 5.8	-	-	▲ 36.4	▲ 9.1	16.7	14.3
今回調査比	(▲ 3.9)	-	-	(▲ 45.5)	(▲ 9.1)	(33.3)	(14.3)

### ③ 最上

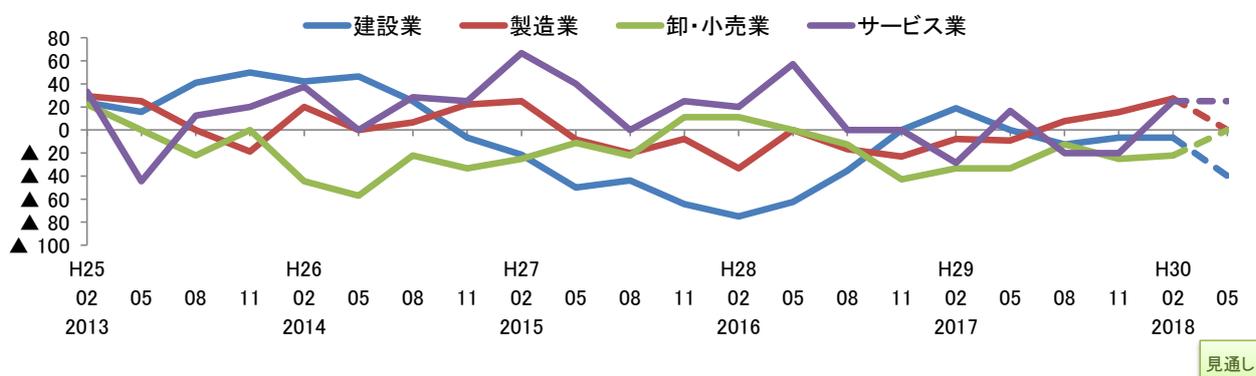
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 2.6（前回調査比 7.5 ポイント上昇）と改善し、14 期ぶりに D I 値がプラスに転じた。業種別にみると、建設業がほぼ横ばい、その他の 3 業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲12.8（今回調査比 15.4 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

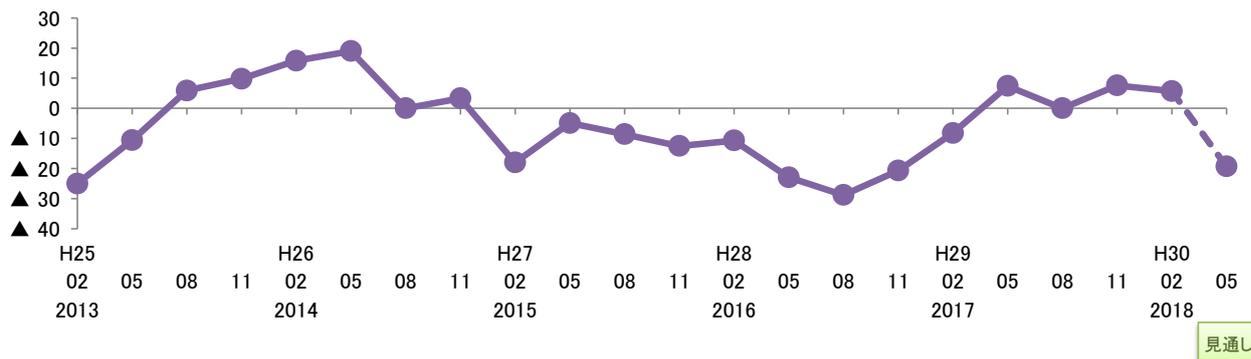
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.02 (n=45)	▲ 6.6	(7.3)	▲ 9.3	18.8	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 28.6
H 29.05 (n=42)	▲ 7.1	(▲ 0.5)	▲ 22.2	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	16.6
H 29.08 (n=44)	▲ 4.6	(2.5)	▲ 23.9	▲ 12.5	14.3	▲ 12.5	▲ 20.0
H 29.11 (n=41)	▲ 4.9	(▲ 0.3)	▲ 2.3	▲ 6.6	15.4	▲ 25.0	▲ 20.0
<b>H 30.02 (n=39)</b>	<b>2.6</b>	<b>(7.5)</b>	<b>▲ 12.2</b>	<b>▲ 6.7</b>	<b>27.3</b>	<b>▲ 22.2</b>	<b>25.0</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 0.1)	(11.9)	(2.8)	(45.0)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 12.8</b>	-	-	<b>▲ 40.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>25.0</b>
今回調査比	(▲ 15.4)	-	-	(▲ 33.3)	(▲ 27.3)	(22.2)	(0.0)

### ④ 置 賜

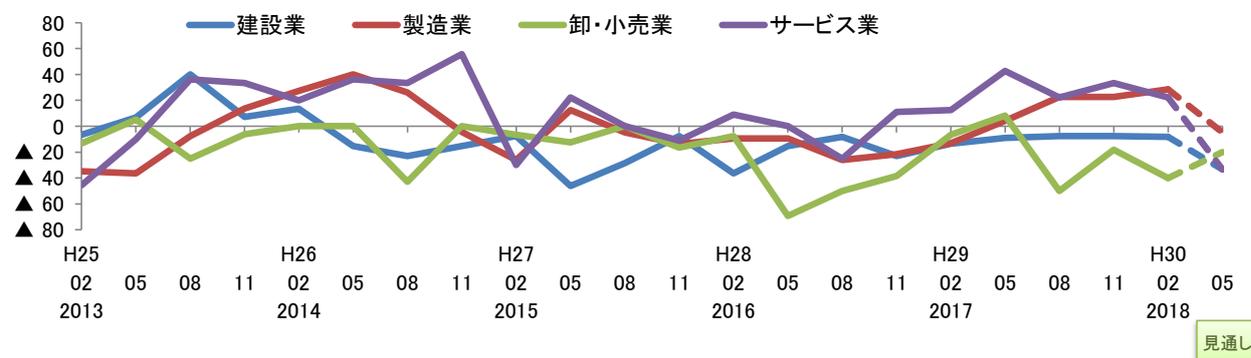
「自社の業況DI値（前年同期比）」は 5.7（前回調査比 1.9 ポイント下落）と、一進一退の状況となっている。業種別にみると、製造業で改善となったものの、その他の3業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲19.3（今回調査比 25.0 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 19 置賜「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

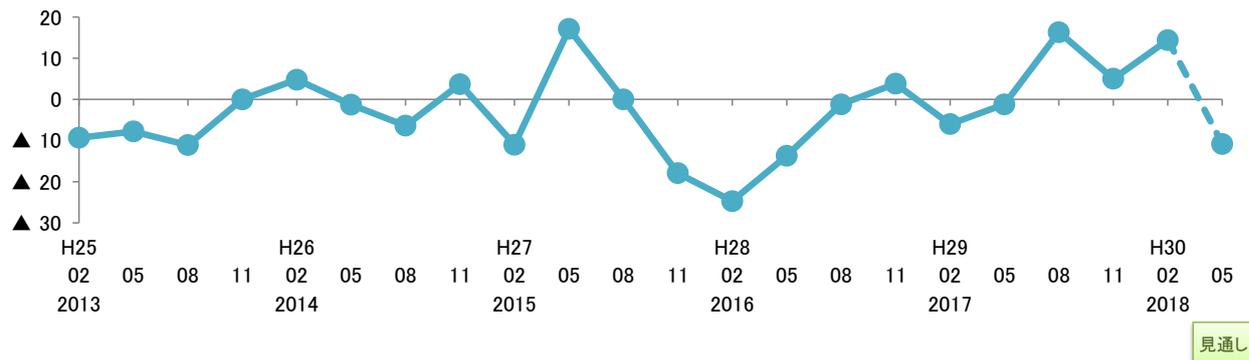
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.02 (n=61)	▲ 8.2	(12.5)	▲ 13.8	▲ 13.4	▲ 13.1	▲ 6.6	12.5
H 29.05 (n=54)	7.4	(15.6)	▲ 16.4	▲ 9.1	4.1	8.3	42.8
H 29.08 (n=58)	0.0	(▲ 7.4)	1.8	▲ 7.7	4.0	▲ 50.0	22.2
H 29.11 (n=52)	7.6	(7.6)	▲ 10.4	▲ 7.7	22.7	▲ 18.2	33.4
<b>H 30.02 (n=52)</b>	<b>5.7</b>	<b>(▲ 1.9)</b>	<b>▲ 19.2</b>	<b>▲ 8.3</b>	<b>28.6</b>	<b>▲ 40.0</b>	<b>22.2</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 0.6)	(5.9)	(▲ 21.8)	(▲ 11.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 19.3</b>	-	-	<b>▲ 33.4</b>	<b>▲ 4.8</b>	<b>▲ 20.0</b>	<b>▲ 33.3</b>
今回調査比	(▲ 25.0)	-	-	(▲ 25.1)	(▲ 33.4)	(20.0)	(▲ 55.5)

### ⑤ 庄内田川

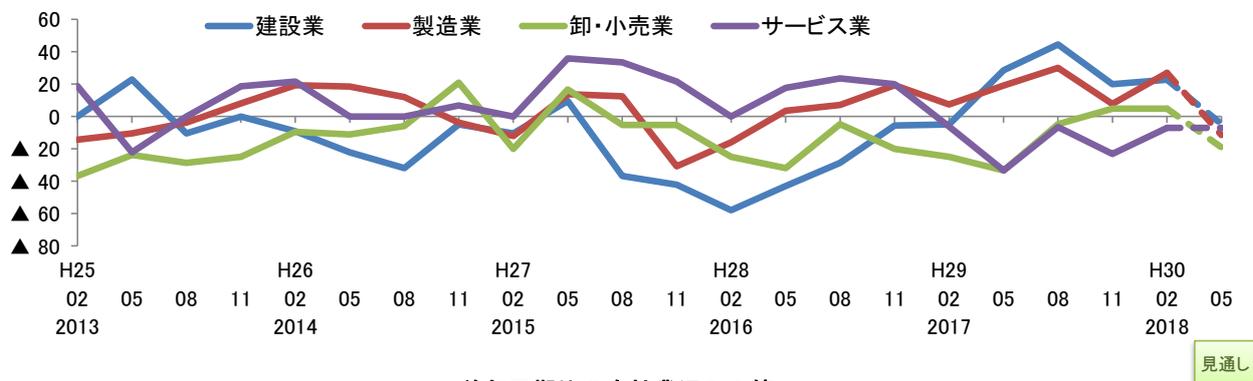
「自社の業況DI値（前年同期比）」は14.4（前回調査比9.4ポイント上昇）と改善し、一進一退の状況となっている。業種別にみると、卸・小売業で横ばい、その他の3業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲10.8（今回調査比25.2ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

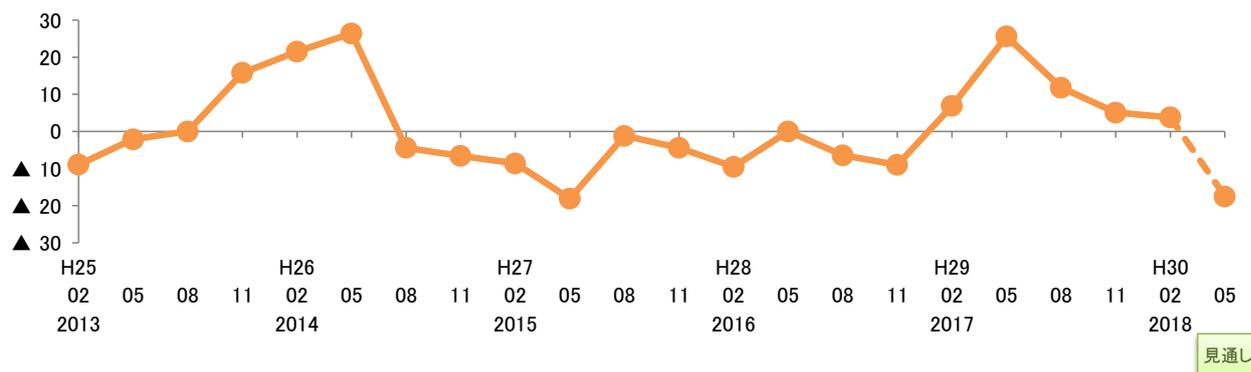
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.02 (n=83)	▲ 6.0	(▲ 9.8)	▲ 7.6	▲ 5.0	7.4	▲ 25.0	▲ 6.2
H 29.05 (n=83)	▲ 1.2	(4.8)	▲ 8.4	28.6	19.2	▲ 33.3	▲ 33.3
H 29.08 (n=86)	16.3	(17.5)	▲ 14.4	44.5	30.0	▲ 4.8	▲ 6.6
H 29.11 (n=80)	5.0	(▲ 11.3)	▲ 4.6	20.0	7.7	4.8	▲ 23.1
<b>H 30.02 (n=83)</b>	<b>14.4</b>	<b>(9.4)</b>	<b>▲ 10.0</b>	<b>22.7</b>	<b>27.0</b>	<b>4.8</b>	<b>▲ 7.1</b>
前回調査比	-	-	-	(2.7)	(19.3)	(0.0)	(16.0)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 10.8</b>	-	-	<b>▲ 4.6</b>	<b>▲ 11.5</b>	<b>▲ 19.0</b>	<b>▲ 7.1</b>
今回調査比	(▲ 25.2)	-	-	(▲ 27.3)	(▲ 38.5)	(▲ 23.8)	(0.0)

## ⑥ 庄内飽海

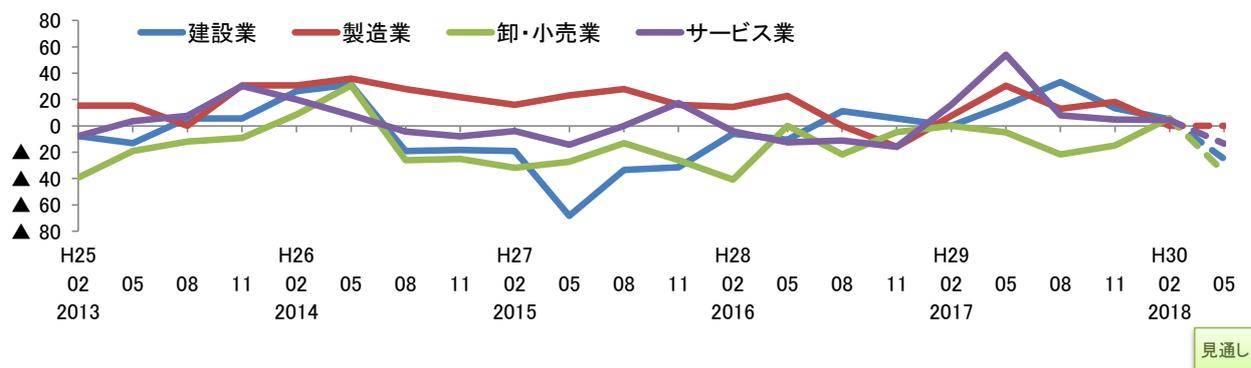
「自社の業況DI値（前年同期比）」は3.8（前回調査比1.3ポイント下落）と3期連続で悪化した。業種別にみると、サービス業でほぼ横ばい、卸・小売業で改善したもの、建設業と製造業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲17.5（今回調査比21.3ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 29.02 (n=87)	6.9	(15.9)	▲ 16.9	0.0	7.7	0.0	16.0
H 29.05 (n=86)	25.6	(18.7)	▲ 3.5	15.8	30.5	▲ 5.0	54.1
H 29.09 (n=85)	11.8	(▲ 13.8)	▲ 2.3	33.3	13.0	▲ 21.7	8.0
H 29.11 (n=78)	5.1	(▲ 6.7)	▲ 7.1	13.3	18.2	▲ 15.0	4.8
<b>H 30.02 (n=80)</b>	<b>3.8</b>	<b>(▲ 1.3)</b>	<b>▲ 8.9</b>	<b>5.0</b>	<b>0.0</b>	<b>5.9</b>	<b>4.5</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 8.3)	(▲ 18.2)	(20.9)	(▲ 0.3)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 17.5</b>	-	-	<b>▲ 25.0</b>	<b>0.0</b>	<b>▲ 35.3</b>	<b>▲ 13.6</b>
今回調査比	(▲ 21.3)	-	-	(▲ 30.0)	(0.0)	(▲ 41.2)	(▲ 18.1)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

**山形県**

今期の業況 →

来期の見通し

**庄内飽海**

→

**最上**

→

**庄内田川**

→

**村山北部**

→

**置賜**

→

**村山南部**

→

今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							



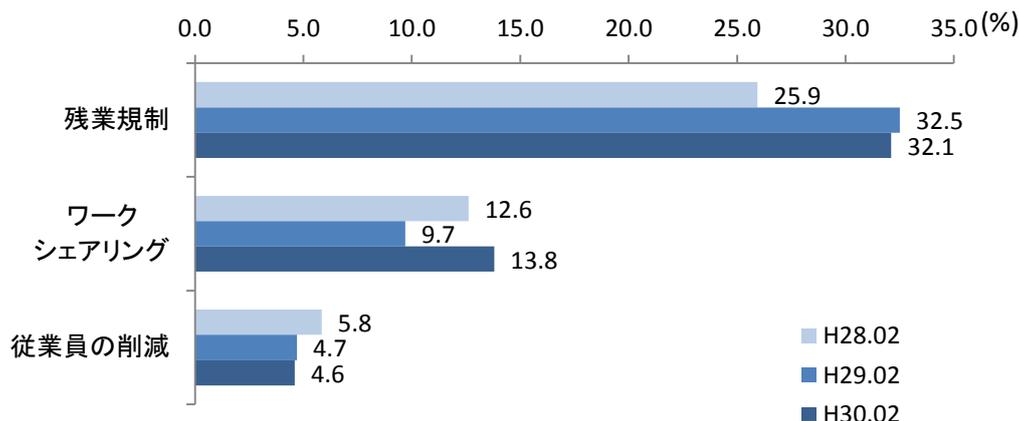
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

### III. 特別調査

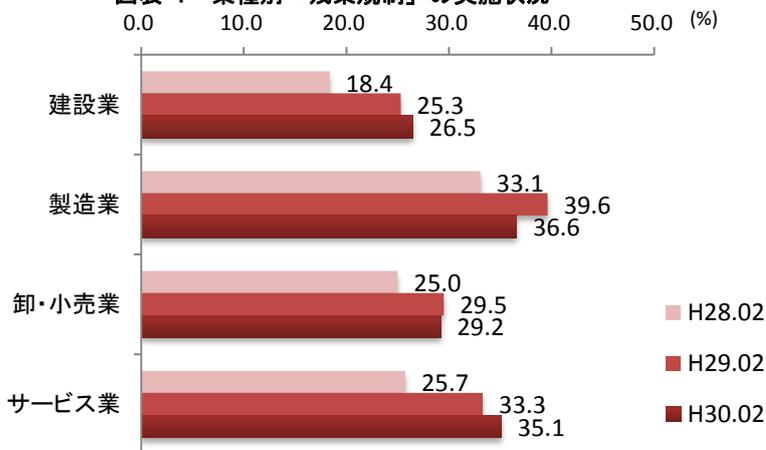
#### 1. 雇用調整について

平成 29 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、「残業規制」が 32.1%（昨年比▲0.4%）、「ワークシェアリング」が 13.8%（昨年比+4.1%）、「従業員の削減」が 4.6%（昨年比▲0.1%）と、昨年に比べ、「ワークシェアリング」の割合が上昇した一方で、「残業規制」「従業員の削減」は若干低下した。

図表 25 雇用調整の実施状況

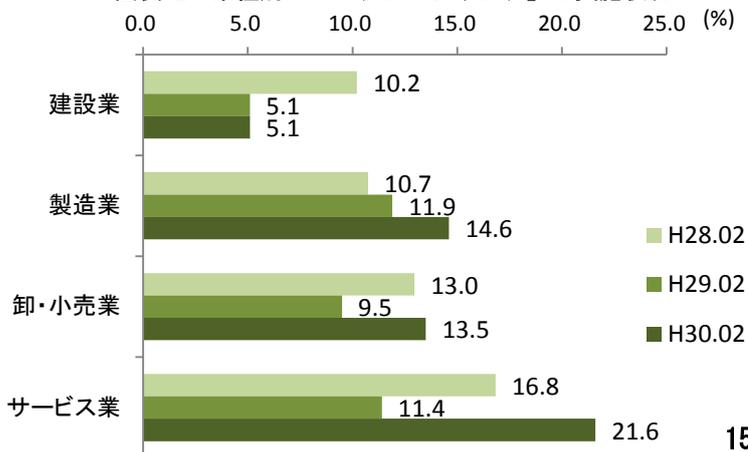


図表 1 業種別「残業規制」の実施状況



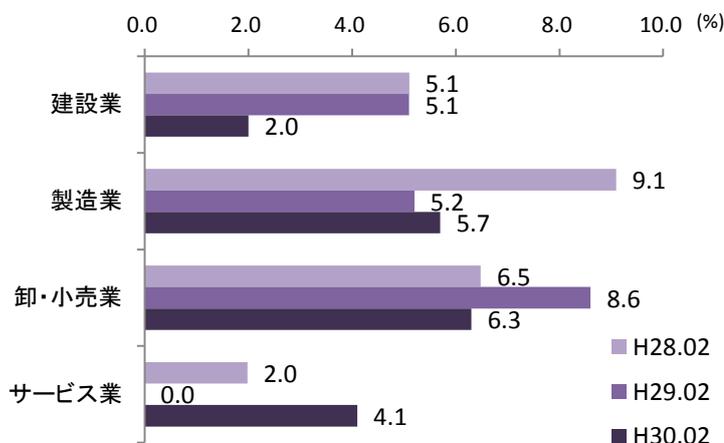
「残業規制」を実施している企業の割合は、昨年と比較すると、建設業とサービス業で上昇したものの、製造業と卸・小売業で低下した。

図表 2 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



「ワークシェアリング」を実施している企業の割合は、昨年比で、建設業は横ばい、その他の 3 業種で上昇した。人手不足の深刻化が進む中、従業員の負担軽減や雇用確保のためにワークシェアリングを実施する企業が増加していると考えられる。

図表 3 業種別「従業員の削減」の実施状況

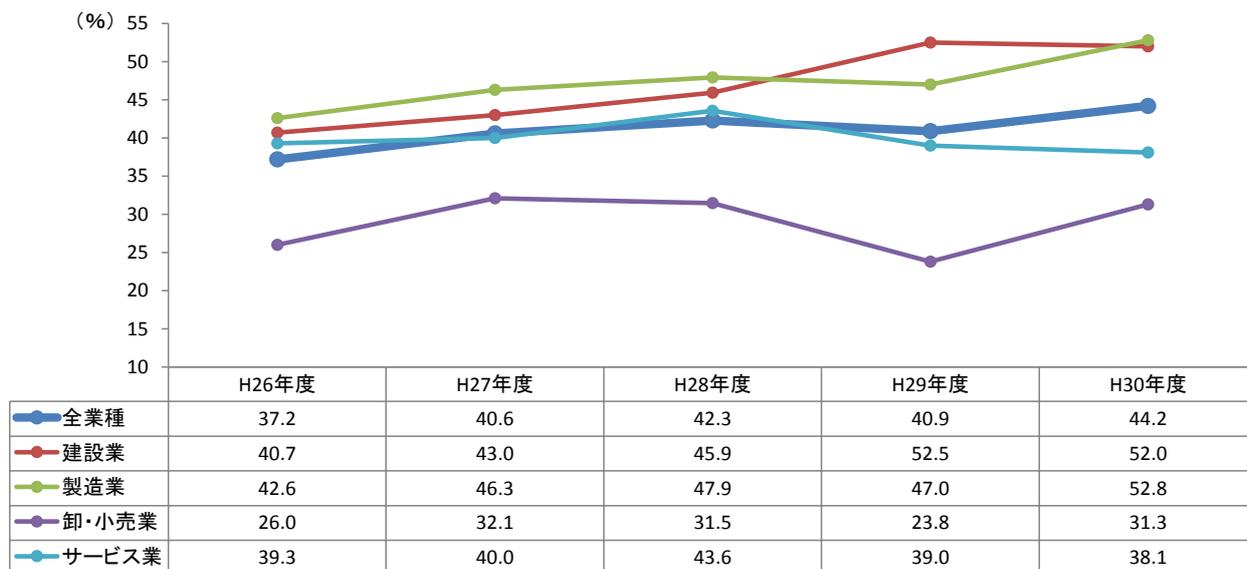


「従業員の削減」を実施している企業の割合は、昨年と比べて、製造業とサービス業で上昇となったものの、建設業と卸・小売業で低下となった。

## 2. 新卒者の採用状況について

来年度（平成 30 年度）の新卒者の採用状況（採用するかどうか）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種で見ると 44.2%（昨年調査比+3.3%）と上昇となった。業種別にみると、建設業が 52.0%（昨年調査比▲0.5%）、製造業が 52.8%（昨年調査比+5.8%）、卸・小売業が 31.3%（昨年調査比+7.5%）、サービス業が 38.1%（昨年調査比▲0.9%）と、建設業とサービス業でほぼ横ばい、製造業と卸・小売業で上昇となった。全業種でおおむね横ばいしないし上昇となった要因として、慢性的な人手不足が継続している現況が考えられる。

図表 4 業種別「新卒者の採用状況」の推移



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	23	35	48	54	160
村山北部	21	35	17	18	91
最上	21	18	11	18	68
置賜	23	32	25	14	94
庄内田川	30	38	29	29	126
庄内飽海	35	35	32	37	139
合計	153	193	162	170	678

(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	18	22	27	41	108
村山北部	11	22	12	7	52
最上	15	11	9	4	39
置賜	12	21	10	9	52
庄内田川	22	26	21	14	83
庄内飽海	20	21	17	22	80
合計	98	123	96	97	414

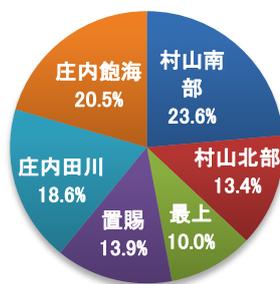
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	78.3	62.9	56.3	75.9	67.5
村山北部	52.4	62.9	70.6	38.9	57.1
最上	71.4	61.1	81.8	22.2	57.4
置賜	52.2	65.6	40.0	64.3	55.3
庄内田川	73.3	68.4	72.4	48.3	65.9
庄内飽海	57.1	60.0	53.1	59.5	57.6
合計	64.1	63.7	59.3	57.1	61.1

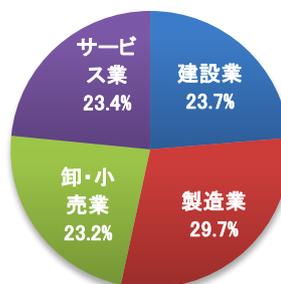
サンプル割合（業種別）



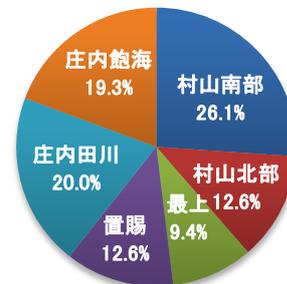
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）

● 調査期間

平成30年2月1日(木)～14日(水)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちら是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

地域政策コンサルティンググループ 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-2 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017

FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp

URL : <http://www.f-ric.co.jp/>